

《履修上の留意事項》状況により、講義の全部または一部を遠隔形式で実施する場合もあるが、その際には別途連絡する。

《担当者名》安部 博史 (abehiro@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

心理学概論では、現代の心理学が成立するまでの歴史的経緯について理解し、心理学の基本的な考え方とその理解に必要な基礎的知識を習得する。また、心の働きによって生じている多様な現象や事象を特定し、それらを心理学的視点から理解、解釈、考察することに加え、他者に説明、解説できる能力を高める。

【学修目標】

感覚・知覚、学習、記憶、思考・言語、動機づけ、情動・感情、性格、知能、発達、社会行動、心の健康と障害、それぞれのテーマにおいて下記を目標とする。

心理学の成り立ちについて、諸科学との関連やその歴史的背景について理解し、説明する。

各テーマにおける基礎的な概念に関して、従来の理論の特徴と限界を理解し、説明する。

これらの心理学的概念や理論が、どのように相互に関連しているかを理解し、説明する。

「心の働きによって生じている多様な現象や事象」を、これらの心理学的概念や理論に基づいて説明、解説する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション	・心理学とは何か ・心理学と心理学ではないもの ・心理学の方法 ・心理学の歴史	安部 博史
2	感覚・知覚	・感覚と知覚の基本法則 ・感覚の種類 ・感覚の一般的特徴 ・感覚の測定、精神物理学と閾 ・ウェーバーの法則、フェヒナーの法則、 スティーブンスの法則	安部 博史
3	感覚・知覚	・視覚 ・視覚の情報処理経路 ・色の知覚、形の知覚、奥行き知覚、錯視	安部 博史
4	感覚・知覚	・聴覚 ・聴覚の情報処理経路 ・音の大きさ、音の高さ、音色 ・音源の定位	安部 博史
5	感覚・知覚	・触覚、嗅覚、味覚 ・触覚2点閾、痛み ・味の分類、フェロモン、においの情報処理 ・感覚モダリティの相互作用、共感覚	安部 博史
6	学習	・生得的行動、初期経験 ・非連合学習 ・連合学習 : 古典的(パヴロフ型)条件づけ ・強化、消去、般化、分化、自発的回復	安部 博史
7	学習	連合学習 : オペラント(道具的)条件づけ 強化スケジュール	安部 博史
8	学習	・運動学習 ・社会的学習 ・行動理論	安部 博史
9	記憶	・記憶の分類 ・短期記憶	安部 博史
10	記憶	・長期記憶 ・宣言記憶(顕在記憶)と非宣言記憶(潜在記憶) ・記憶の神経科学	安部 博史
11	記憶	記憶の忘却、干渉、変容	安部 博史
12	思考・言語	・言語 ・非言語的コミュニケーション ・言語の特性と障害	安部 博史
13	思考・言語	・思考 ・問題解決	安部 博史
14	思考・言語	・意思決定 ・ヒューリスティックスとバイアス	安部 博史
15	情動・感情	・情動、感情、気分 ・表情と情動の種類 ・情動の機能	安部 博史
16	情動・感情	・情動の諸理論 ・情動の発達	安部 博史

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
17	動機づけ	・動因、誘因と行動 ・欠乏欲求、欲求不満 ・葛藤	安部 博史
18	性格・知能	・性格の理論 ・類型論	安部 博史
19	性格・知能	・特性論 ・ビッグファイブ	安部 博史
20	性格・知能	・性格検査 ・質問紙法、投影法	安部 博史
21	性格・知能	知能とその検査法	安部 博史
22	発達	・発達とは ・発達段階 ・乳幼児期の発達	安部 博史
23	発達	児童、青年期の発達	安部 博史
24	発達	成人、老年期の発達	安部 博史
25	社会行動	・自己の認知 ・対人認知 ・態度と説得	安部 博史
26	社会行動	・同調、服従 ・対人魅力、援助行動、攻撃行動	安部 博史
27	心の健康と障害	・心の健康 ・ストレスと心理的障害 ・汎適応症候群	安部 博史
28	心の健康と障害	・心理臨床の対象 ・統合失調症、気分障害、不安障害、人格障害	安部 博史
29	心の健康と障害	・カウンセリング ・精神力動的アプローチ ・来談者中心のアプローチ ・行動主義・認知行動主義的アプローチ	安部 博史
30	心理学の展開	・文理融合の学としての心理学 ・心理学が参加する新しい領域の可能性	安部 博史

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート・ミニテスト20%、中間試験40%、期末試験40%とする。

【教科書】

心理学 第5版補訂版（東京大学出版会）ISBN: 978-4130121170

心理学検定 一問一答問題集 [A領域編]（実教教育出版）ISBN: 978-4788961012

誠信 心理学辞典 [新版]（誠信書房）ISBN: 978-4414305074

【参考書】

心理学への招待 [改訂版]（サイエンス社）ISBN: 978-4781913476

心理学概論 [第2版]（ナカニシヤ出版）ISBN: 978-4779508301

心理学 新版 (New Liberal Arts Selection)（有斐閣）ISBN: 978-4641053861

心理学概論（ナカニシヤ出版）ISBN: 978-4779503993

【備考】

全ての回に出席し、その内容を十分に理解していること。指示された講義前学習を行っていることを前提として講義を進める。講義内容に不明な点などあれば、質問などを行い、直ちに解決すること。

【本科目のICTの活用の状況】

1. 学習教材（授業資料）の配信，学習課題の提示
 - ・授業資料の配布は，google class roomを利用する．
 - ・学習課題の提示は，google class roomを利用する．
2. 授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用
 - ・毎回，google formを利用して，小テストを実施し，解答は直ちにフィードバックする．
 - ・クリッカーやgoogle formを利用して，適宜学生の理解度を把握する．
3. 資料はすべて電子化したものとし，紙資料の配布予定はない．

【学修の準備】

各回の「授業内容および学習課題」に挙げられているキーワードについて、教科書・参考書、インターネットなどを利用して事前に予習を行う。毎回毎に指定される教科書・資料などの指定された部分を精読する。事前学習には60～90分かかることを想定している。

【復習】

学習内容を自分の言葉でまとめる。教科書・参考書の当該部分を精読し、講義中に触れられなかった内容の補完や講義内容との統合を行うこと（30～60分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得するという、心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

精神科および発達障害者支援センターにおける実務経験を活かし、可能な限り具体的に基礎から応用に及ぶ教育内容と臨床場面との関連について言及する。